

ちゃんと未来はひらけますよ！

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン

「今日のフォーカスチェンジ」第2600号
(2010年12月11日発行)より

最近、何においても、「決める」ことの大切さを、あらためて感じています。決めなければ、決まらないからです。当たり前すぎるのですが、案外できていないのです。いえ、あえて言うややっていないのです。

「やりたいけど、できない」というひとがいます。やりたいなら、やるのです。やりたいなら、できるのです。

もちろん、「できない」には、理由があるでしょう。でも、「だからできない」をそのままにしておくと、不完全燃焼になります。そのときは、いったん、「やりたいけど、別に優先すると 決めたことがあるから、いまは、やらない」と、決めるのです。

本当にやりたいことなら、きっと、その思いが、こころから消えることはないでしょう。そしたら、必ずまたチャンスはめぐってきますから。こころのなかで、その思いを大事に大事に、育てつづけたらいいのです。

でも、中途半端に、やりたいけど、できな

いなあと思っているなら、すっぱり、きっぱり、「やらない」と決めてみるのです。

やらないでもいいことなら、それは、実際、やらないで終わることになります。それはそれでいいのです。いずれにしても、「決める」のです。「決める」ところから動き出すのです。

それでもなお、「決められない」というひとがいるかもしれません。そしたら、それは、「保留」にしておいたらいいのです。「保留」にするということは、とりあえず、もうそのことについては考えないということです。時期がきたら、考える必要が出てくるはずですから、もう、あれこれ考えるところからは、はずしてしまうのです。

「保留」にしようとしてもやはり考えてしまうというなら、それはやはり決めなければなりません。できるかできないか、ではなく、やるかやらないか、という視点で。迷ってそこにとどまっているほど、人生は長くはないのです。

時間をかけて考えることがいけないわけはありません。そのときは、「時間をかけて考える」と、決めるのです。できたら、「〇時間考える」「〇日間考える」と決めるのです。いたずらに、だらだらと、ただ迷って

いても出口はありません。

決めたときに、はじめて、次の道がひらかれます。それは、言ってみればミモフタモナイほど、単純な話です。

たとえば、今日の昼ごはんを、チャーハンにしようか、おそばにしようかと考えます。チャーハンにするなら、フライパンを用意するでしょう。おそばにするなら、お湯を沸かすための鍋を用意するでしょう。

さらには、食べるためには、スプーンを用意するし、あるいは、箸を用意するわけです。香辛料は、こしょうであったり、七味であったりするわけです。

もちろん、工夫すれば、鍋でチャーハンを食べられるかもしれないし、スプーンでそばを食べることもできるかもしれません。でもそれは、あくまでも非常事態です。やはり、最初に何をつくるか決めたときに、使うものは決まってくるのです。

人生も同じなんです。どう生きるか決めたときに、次が見えてくるんです。次が見えるから、決めるわけではないのです。

もしもいま、悩んで足踏みしたままになっているひとは、どうぞ、いったん決めてくだ

さい。(悩んで足踏みしたままでいたいひとは、そのままそうすると、決めてください)

決めたことが、思いどおり、望みどおりに進むかどうかはわかりませんが、とにかく、決めないかぎりにははじまりませんし、終わりません。

ポイントは、「やりたいか、やりたくないか」。自分の人生を、自分が選んで決めるのです。誰かにゆだねることなんて、できないのです。

大丈夫。その一歩を自分が踏み出すことが、自分に勇気をあたえてくれます。自信も、元気もあたえてくれます。だって、自分で決めたことですからね。ほかの誰でもない、自分で選んだことですからね。

そうやって、自分で選んで、自分で決められる自分があるんです。ちゃんと未来はひらけますよ！

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、2003年11月1日創刊。2010年12月、2600号達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>